

# 知床の窓から見えるもの

2015年5月7日（木曜日）

「血液透析と羅臼」

初めまして。

私は、釧路孝仁会記念病院から知床らうす国民健康保険診療所に異動となりました臨床工学技士の者です。

4月から1年間お世話になりますのでよろしくお願いします。

さて、皆さんは血液透析をご存じでしょうか？ 自分や周りの人が関わっていないとわからないと思います。

血液透析とは糖尿病性腎症や慢性糸球体腎炎などが原因で腎臓がうまく機能しなくなり尿などの排泄物が出なくなる為、老廃物が体の中に溜まってしまいます。そういった場合に行うのが血液透析です。

治療としては、血液を体外に導き人工腎臓（ダイアライザー）を通して、きれいな血液にして体に戻すというものです。これは、腎臓を治す手段ではなく、あくまでも機能が悪くなった腎臓の代わりに体の中の毒素や余分な水分を取り除く治療です。これを週3回3～4時間以上行います。

透析人口は全国で約31万人で近年の高齢化に伴い、透析人口も増加していきとされています。



羅臼診療所では平成24年10月に透析室が開設しました。開設当初は2名でしたが現在は8名の患者様が治療を行っています。患者様方は優しく、心が豊かな人ばかりで皆さま元気に通院されています。

また当診療所では旅行透析の受け入れも行っております。旅行透析をお考えの方は、当診療所までご連絡ください。スタッフ一同お待ちしております。

